

知事挨拶

皆さん、こんにちは。広島県知事の湯崎英彦です。

本日は、広島県子供議会に、県内各地から過去最多となる46名の子供議員の皆さんに御参加いただき、ありがとうございます。

広島県の将来を担う皆さんが、県をよりよくしたいとの思いを持ち、参加してくれたことをとてもうれしく思います。

また、保護者の皆様も、御多用のところ、傍聴にお越しいただき、誠にありがとうございます。

子供議員の皆さんが発表される際は、ぜひとも暖かい目で見守っていただけると幸いです。

さて、今、皆さんが座っておられる議場は、県民の代表である県議会議員の皆さんと、私たち県の執行部との間で、広島県の様々な課題について議論を行うとても大切な場所です。

県の取組というのは、県議会議員や関係者の皆様など、いろいろな方と議論して、大人同士で決めていくことが通常ですが、若い皆さんの柔軟な発想やアイデアは、広島県の将来にとって貴重な財産になると考えています。

実際に、過去には、子供議員の皆さんからいただいた「ポイントが付くペットボトル回収機の設置」や「環境に配慮した温水除草システム」などの提案が実現されたという例もあります。

今回はどのような提案が出てくるのか、とても楽しみにしています。

さて、県では、令和2年度に、10年後の目指す姿とその実現に向けて何をしていくのかを示した「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」という総合計画を策定しました。

10年後も、皆さんに「ずっと広島県に住み続けたい。」また、一時的に広島県を離れたとしても「やっぱり大好きな広島県に戻りたい。」と思ってもらえるような魅力あふれる県になるよう、日々頑張っています。

本日の子供議会に向けて、皆さんは、2日間の勉強会を行い、グループごとに活発に議論を交わしながら提案をまとめていただいたと聞いています。

広島県の未来について、本音で考えてくれた提案に対して、私たちも精一杯、答弁させていただきますので、ぜひとも自信をもって、元気よく発表してください。

本日はどうぞよろしくお願いします。